



# マジックでもっと多くの人をもっと笑顔に

秋田市山王でマジックバー「手品家」を経営する、ヨッシーこと吉野弘坪さん。店舗では毎日、テーブルマジックやステージショーなど数々のマジックを披露しています。マジシャンを夢見て上京し2019年からは活動の場を秋田に移した吉野さんの、これまでとこれからを伺いました。

マジックに目覚めたのは幼少の頃でした。「祖父がマジック好きで、テレビでマジックをやるといつも「一緒に見ていた」と当時を懐かしみます。初めて人前でマジックを披露したのは、小学6年の時の学校でのお楽しみ会。緊張で頭が真っ白になりながらも、同級生から「すごい！」と拍手をもらえたうれしさは忘れられませんでした。

それからマジックにのめりこんでいった吉野さん。とにかく誰かに見てもらいたい一心で、高校入学後すぐに玄関でマジックを披露していたといいます。それを見た先生に「同好会をつくろう」と声を掛けられ、マジック同好会を発足。次第に仲間が増え、学校祭や慰問などを通して活動の場を広げていきました。

マジシャンになりたいという思いは、日に日に強くなるばかり。とはいえ、「マジシャンで食べていく自信はなかった」と振り返ります。思い悩む日々の中、高校3年の時、偶然にも友人とマギー司郎さんのショーを見に行く機会に恵まれました。「おしゃべりが上手なマギーさんの世界にすぐに引き込まれ、感銘を受けまし

た。その場でファンレターを書いて、会場に置いてきたんです」。翌日、何と本人から直接電話が。「お手紙読んだよ。でもね、大学には行きなさい」とあの穏やかな調子で言われたんです（笑）。その瞬間に、進学が決まりました。

その後、地元の大学に進学すると、マジックサークルを立ち上げ活動。卒業後は上京して就職しました。「最後までマジシャンの夢を捨てきれなかったのも、どこの会社にも魅力を感じなくて」。その中でもここなら、と思えたのがエンタメに力を入れている、とある会社でした。会社が高級なカラオケ店を経営していたので、たまにお客さんにマジックを披露する機会があつて楽しかったですね。

数年後、奥さまの妊娠がわかった時、「家族が増えるタイミングで改めて自分の夢を確信し、プロのマジシャンを目指していいかとお願いました。妻は迷うことなく、僕の夢を応援したいと言ってくれたんです。妻がいなかったら僕はマジシャンになつていないと思います」

それからは迷いが吹っ切れ、飲食店と契約をして、テーブルを回りマジックを披露してチップ

をもらう「テーブルホッピング」などでマジシャンの道突き進んでいきましたが、心の中にはいつも漠然とした思いがありました。いつか秋田にマジックバーを。

チャンスは突然やってきました。それは、全国に「手品家」をフランチャイズ展開している株式会社マジックポット代表の前田真孝さんとの出会い。「前田さんは、全国どこでもマジックが見られる世の中になつてと頑張っている人。まさに僕の考えていることでした。前田さんの熱い思いを聞いて、それに反応するように『じゃあ僕、秋田につくりまします！』と言ったんです（笑）」。

そして、2019年7月に無事秋田市山王に「手品家」がオープンした。高校生から何度も何度も諦めかけ、それでも手放せなかったマジシャンの夢が、秋田でかなえられた瞬間でした。毎日マジックを誰かに見てもらえる、夢に描いた日々。それでもここは通過点だと言います。

「今の僕の夢は、これから先、秋田からプロマジシャンがどんどん生まれること。だからたくさんの子どもたちにマジックを見てもらいたいんです。披露するだけでなく教える機会も設け、これまでマジック教室を2回開催しました。今後も教室を開いていく予定なので、『マジックって面白い！』『マジックをもっと知りたい！』と思ってくれる人が一人でも増えて欲しいです」と、後継者育成に意欲を見せました。



## 「手品家」オーナー 吉野 弘坪さん

【プロフィール】  
マジシャン ヨッシー  
1985年、由利本荘市生まれ。秋田県立大学を卒業後上京、出張マジシャンとして活動する。2019年7月に秋田市山王に「手品家」オープン。テーブルマジックやステージショーなどを披露する

<手品家>  
90分飲み放題・マジック見放題  
料理は別注文(軽食や近隣の提携飲食店からのデリバリー) 口大 人 3,500円(アルコール)、3,000円(ソフトドリンク)  
口大学生 2,500円 口高校生 1,500円 口中学生 1,000円 口小学生 500円 (税込)